



1年生 地域再発見フィールドワーク!

12月22日に、グローバル協創Ⅰ グローバルプロジェクトⅡ「地域再発見フィールドワーク」が行われました。グローバルな課題の解決に活かすことができそうな、地元の強みを発見するプロジェクト。A～Dの4つのコースに分かれて、県内各地へ「フィールドワーク」に行きました。地元で研究を重ね活躍なさっている方々と出会い、それぞれたくさんの学びを得ることができました。大変寒い一日でしたが、心は熱く・温くなる研修の一日でした。C・Dコースは、午後からさくらサイエンスプロジェクトで来日中のベトナム・台湾の生徒や先生方も合流し、ともに学び意見を交わし、交流を深めました。

Aコース：「海洋・水環境と水産資源の未来を考える」本校にて宮崎大学の岸大悟先生に「海洋環境の保全とサンゴの養殖への挑戦について」講義をいただいた後、三股町のしゃくなげの森にて「黄金イクラ」を生み出した内水面環境と養殖について、講義や養魚場の見学を通して学びました。



Bコース：「森林の役割と食と人間生活の未来を考える」平和が丘の森Hutte Forest Worksにて、森林環境の未来と山師の未来、山師の仕事とベンチャーについて学び、木の玉切りを体験した後、横山果樹園にて養蜂、アボカド栽培について見学・講義をいただきました。



Cコース「食の安全と健康の未来を考える」宮崎大学農学部にて、農業生産性と食品の質の向上を達成する研究について講義をいただいた後、早川農苑にて、自然生態系農業（有機農法）について体験し、お話を聞き意見を交わしました。有機農法で育った野菜の美味しさも味わい、大切なことを学びました。



Dコース：農業とエネルギーと文化を考える宮崎大学工学部にて世界最先端の太陽光装置について学び、西岡先生が開発した集光型ソーラーパネルを見学しました。その後、日本農業遺産で「大根やぐら」を見学し、道本食品を訪ね、伝統食品と進化しつつあるあのグローバルな展開について学びました。



WWL 生徒探究発表会 いよいよ開催！



1月28日(土)には、2年生のこれまでの2年間にわたる探究活動の集大成である「WWL 生徒探究発表会」が開催されます。修学旅行を終えたばかりの2年生は現在、最後の調整をしており、各ユニットとも懸命にポスター作成などに取り組んでいます。今年開催は、校内向けには直にポスターセッションの形式で、また校外の方々とのセッションではオンラインで実施することになっています。どちらの形態でも気軽に参加していただき、活発な意見交換ができることを期待しています！

班	研究発表のタイトル	研究のPRポイント
1	SBG's ～ Super Black Garlic's ～	私たちは黒ニンニクを加工し、摂取効率を高めるといふものです。実食後にアンケート調査を行いました、そのデータ分析の結果、何と私たちの予測通りの分析結果が得られました！途中苦労しましたが、成果をご覧ください！
2	シロアリによる水素発電	化石燃料による発電の二酸化炭素の大量排出により地球温暖化や大気汚染が深刻化しているため、化石燃料ではなく、日本で害虫として扱われているシロアリを活用した環境に優しい発電を研究しました。
3	活性炭で水をきれいに ～廃棄物でつくる活性炭の可能性～	私たちの班は、家畜場などから排出される亜硝酸性窒素という人体にも外がある物質を活性炭で吸着する研究をしています。実際に活性炭を作ることが出来ました。身近であり世界的な問題解決に向けて頑張っています！
4	ブラックバスを養殖魚の餌に	私たちの研究は、本来養殖魚の餌として天然魚が使われている部分を、ブラックバスに置き換えることで、天然魚の枯渇を防ぐとともに、外来魚の駆除に貢献しようとするものです。
5	見切り品の価値を見切れ ～見切り品における食品ロスの削減について～	現在世界では、食品生産量の3分の1が捨てられています。私たちはスーパーの見切り品に注目して食品ロスの削減を試みました。今回の発表を通して、見切り品の魅力を皆さんに知っていただきたいです。
6	種をネタに！ ～ゴーヤの種の有効活用～	皆さん、野菜の種をどうしていますか？多くの方が廃棄しているのではないのでしょうか。廃棄物は世界で多くの問題を引き起こします。そこで私たちは宮崎で生産量の多いゴーヤの種の利点を研究しました。成果をご覧ください！
7	残渣を開拓・残渣で開拓	私たちは残渣の有用性の発見を目標に研究を進めました。そこで私たちは残渣の栄養面に注目し、その中で抗酸化作用に注目しました。日常生活で廃棄されている残渣ですが、活路が見い出せたかもしれません。
8	容器と満腹感の関係性	世界規模の問題である肥満について本研究では、食べる量以外の要素により満腹感を増加させ、食べ過ぎを防ぐことが効果的であると考えた。食事で使う容器の重さ、素材、色のユニークな点に注目した興味深い研究である。
9	髪ノ酸 ～髪の毛の発酵によるアミノ酸の生成～	私たちの研究では、日頃捨てられる髪の毛を使い、分解してアミノ酸を生成する実験を行いました。実験結果やアミノ酸の活用方法、効果的な生成方法について発表します。
10	最強の紙	プラスチックの代替品はたくさん世に出回っていますが、それが一般的に市場に普及しない原因に焦点を当て、身近にある物を使って紙を作った結果、一見弱そうな組み合わせが最強となり、興味深い結果となりました。
11	廃棄物からできた紙で海をきれいに！	海洋プラスチック問題と食品廃棄物問題を同時に解決すべく、プラスチックの代替品として宮崎県の特産品の廃棄物を使って紙を作りました。果たしてそれらの紙はどれくらいの強度まで耐えることができたのでしょうか。
12	Fish's dish	現在、海の魚の数は減り続けています。そこで私たちは、養殖漁業において魚を使用せずに魚を育てるといふ研究をしました。最新研究のため、準備・実験が難航しましたが、有意義な研究記録を残すことが出来ました。

3年生！受験頑張れ！



共通テストを終えたばかりの3年生！ひとまずはほっとしていることでしょう！色々な意味で気持ちの切り替えをし、次は2次に向けてこれからの1ヶ月を、最後の最後まで頑張ってください！1・2年生全員で心より応援しています。